

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カイハラ産業株式会社本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市新市町常1450番地

(3) 業種

綿状繊維・糸染色整理業 1146

2 計画の期間

本計画の期間は、令和2年度を基準年度とし、令和3年度から令和8年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a) 平成 年度 ()	目標年度		計画期間の実績 (上段:実排出量(d), 下段:削減量の対基準年度比(e))			
		上段:見込量(b) 下段:削減率(c)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量(百万kg)

温室効果ガスの種類	原単位 (a) 基準 年度 原単位 (2020)令和2年 度 (2020)	目標年度		計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比(e))			
		原単位(b) 上段:原単 位 削減率(c) 下段:削減 率	令和8年度 (2026)令和8年度 (2026)	令和5年度 (2021)令和3年 度 (2021)	令和4年度 (2022)令和4 年度 (2022)	令和5年度 (2023)令和5年 度 (2023)	令和6年度 (2024)令和6年 度 (2024)
起源CO ₂ エネルギー	1,238	1,300 -5.0	1,031 16.7	1,092 11.7	100.0	100.0	100.0
起源CO ₂ 非エネルギー		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
排出量総計 温室効果ガス	1,238	1300 -5.0	1031 16.7	1092 11.7	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費原 単位(原油換算 kl)	545	518 5.0	463.4 15.0	494 9.4	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	生産量、エネルギー起源CO ₂ がどちらも減少した。 燃料原単位を削減できたが、電気原単位が上昇し、全体的に原単位が上昇した。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	燃料原単位の削減	燃料の原単位が9.8%減少	ボイラ給水温度の高温維持 配管保温の修繕・蒸気漏れ修理 蒸気トラップの交換 ボイラ台数制御の見直し
2	電気原単位の削減	電気の原単位が56.6%上昇	排水設備の脱色装置の運転見直し 空調、コンプレッサーのフィルター掃除 ブロワー運転の見直し
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	クリーン活動	2回/年	・工場周辺の清掃奉仕活動
2	廃棄物排出量の削減		・分別収集及び資源化の徹底 ・廃棄物の再資源化の推進 ・電子化によるペーパーレス化
3	処理水の再利用		・設備の洗浄水に活用 ・設備の循環水として使用

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。